

## 【施工パッケージの説明資料】

### 1. 施工パッケージとは？

国交省が平成24年10月以降に入札を行う土木工事に採用した新しい積算方法になります。

適用時期：平成24年10月1日以降に入札を行う工事

適用範囲：平成24年10月1日からは作成した**63施工パッケージ**を適用しました。

平成25年10月1日からは、3工事区分(舗装、道路改良、築堤、護岸)及び6工事区分(道路維持、修繕、河川維持、修繕、砂防堰堤、電線共同溝)の主要工種に**146施工パッケージ**を新たに追加しました。

国交省が採用している施工数：**209施工パッケージ**

(※) **63施工**パッケージで、**約4600単価**になります。

### 2. 施工パッケージの目的

今までの積算方法は労力が必要だったり、積算事態が難しかったり、積算価格が下がり続けるなどの問題があった為、「労力を減らす」、「積算を簡素化する」などが目的となっています。

### 3. 頂の施工パッケージの使い方、計算例

①下記は鳥取県の設計書です。

＊本工事費＊

内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	価	金	額	備	考
本 工 事 費							X1000	
溝砂除石							Y08ZZ	
維持浚渫工			一式				Y0810	
掘削工			一式				Y0810230	
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 50,000m3未満	5,000	m3					SPK13040001 0 A=1, B=1, D=2, E=1, F=3 単第0-0001 表	
残土処理工			一式				Y3999	
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) DID 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 5.5km以下	1,500	m3					SPK13040002 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=13 単第0-0002 表	
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) DID 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 1.5km以下	3,500	m3					SPK13040002 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=5 単第0-0003 表	
整地 残土受入れ地での処理	5,000	m3					SPK13040003 0 A=1 単第0-0004 表	

24-\*\*\*\*\*-000001-40

鳥 取 県

「図中①」には施工パッケージの条件が有り、「図中②」には「**SPK13040001 0**」と書いてあります。これは施工パッケージの単価の意味になります。「**SPK**」から始まる物は施工パッケージ使います。では、「掘削」の明細を見た上で、実際に頂で作ってみます。

## ②掘削の明細・頂での施工パッケージの使い方

構成比を見ると、バックホウが47.66、特殊運転手が31.35、軽油が20.99となっています。

構成比は役所の色々な根拠を元に計算した上で発表しています。

掘削		SPK13040001	施 工 単 価 表		単第0-0001 表	1	m3	当り	頁0-0011
土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 50,000m3未満									
機械構成比: 47.66%		労務構成比: 31.35%	材料構成比: 20.99%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価:				
代 表 機 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考				
バックホウ(クローラ型) [標準型] [排対2次]山積0.8m3(平積0.6m3)	47.66%		バックホウ(クローラ型) [標準型] [排対2次]山積0.8m3(平積0.6m3)		MTPC00014 MTPT00014				
特殊運転手	31.35%		特殊運転手		RTPC00006 RTPT00006				
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	20.99%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013				
積算単価			積算単価		EP001				
A=1 土砂 D=2 押土無し F=3 50,000m3未満			B=1 オープンカット E=1 障害無し						

## ③単価適用地区を「010 米子10」に設定します。

設計書から単価検索を起動し、下記の図の通りに操作を行います。

1. 「施工パッケージ」というタブをクリックします。

2. 土工 → 土工 → 掘削をクリックします。

3. 条件区分の設定画面が表示されます。  
右側より条件を選択します。

4. 最後に確定ボタンをクリックします。

掘削の場合は「土質」や「押土の有無」の選択項目を変えると、他の条件区分も変わってきます。

また、条件区分が無い物も有ります。

④計算式の詳細（図中①）が表示されます。各K、R、Zの数式（図中②）には適切な構成比、単価が使われています。 K = 機械 R = 労務 Z = 材料という意味になります。

図中①の計算式の詳細は以下の通りです。

代表機材規格	構成比	【東京17区】 機材単価(円)	【積算地区】(鳥取県/米子10) 規格	機材単価(円)
K	47.66	-	-	-
K1 バックホウ(クローラ型・排ガス対策型(第2次)) 山積0.8m	47.66	17800	代表規格	18900
R	31.35	-	-	-
R1 特殊運転手	31.35	17100	代表規格	14300
Z	20.99	-	-	-
Z1 軽油 1.2号 バトル給油	20.99	106	代表規格	130

図中②の数式は以下の通りです。

$$P(\text{鳥取県/米子102013.10.01})=181.6$$

$$\begin{aligned} & * \left[ \left( \frac{47.66}{100} * \frac{18900}{17800} \right) * \frac{47.66}{47.66} \right. \\ & + \left( \frac{31.35}{100} * \frac{14300}{17100} \right) * \frac{31.35}{31.35} \\ & + \left( \frac{20.99}{100} * \frac{130}{106} \right) * \frac{20.99}{20.99} \\ & \left. + \frac{100-47.66-31.35-20.99}{100} \right] = 186.3(\text{円/m}^3) \end{aligned}$$

図中③の注釈：47.66 = 構成比 18,900 = 鳥取機械単価 17,800 = 東京17区機械単価。此方の2つも同じで、水色の部分は「R1」行の数値、黄色の部分は「Z1」行の数値を使います。

⑤施工パッケージの単価は、設計書へ貼り付けると「市場単価」として貼り付きます。貼り付けたい場所を選択（図中①）し、「転送ボタン（図中②）」を使い、貼り付けます。

図中①の場所を選択し、図中②の「転送」ボタンをクリックして貼り付けます。

⑥頂の設計書に「市場単価（図中①）」として貼り付けました。

図中①の「市場単価」が設計書に貼り付けられました。

4. 【付録】各県の施工パッケージの採用状況を纏めました。(4 ページ目)

平成 25 年 11 月下旬における調査結果になります。

都道府県	有無	採用時期	施工数	備考
北海道	×			開発局が採用しているだけで、北海道ではしてない。
青森県	×			来年の 10 月を採用予定。
岩手県	×			来年度中に予定
宮城県	×			採用検討中、いつ頃かは不明。
秋田県	○	25 年 10 月 1 日～	63	
山形県	×			採用予定、先の話なのでいつ頃かは明確でない。
福島県	×			準備中、いつ適用開始するかは不明。
茨城県	×			来年度中には採用する予定。
栃木県	○	25 年 10 月 10 日～	全施工	
群馬県	×			今後採用を予定。説明会をいくつか開催している。
埼玉県	×			再来年度以降を予定している。
千葉県	×			来年度以降に採用。システム準備中。
東京都	×			現状では適用していない。今後も適用するか不明。
神奈川県	×			詳細発表なし。
新潟県	×			来年の 10/1～採用予定。詳細はお答えしていない。
富山県	×			採用予定だがいつ頃かは不明。
石川県	○	25 年 10 月 1 日～	64	
福井県	○	25 年 7 月 15 日～	63	
山梨県	×			採用予定だが、いつ頃か不明。
長野県	×			早くて平成 27 年度の導入を検討している。
岐阜県	○	25 年 7 月 1 日～	63	
静岡県	○	25 年 7 月 1 日～	63 未満	舗装を除く施工パッケージを適用している。
愛知県	×			来年の 10 月には採用する予定。
三重県	○	25 年 10 月 1 日～	63	
滋賀県	×			基本的には使わない。移行せざるを得ない時は採用。
京都府	×			いつ採用するかは不明。
大阪府	×			平成 26 年 1 月～、全施工を採用。日は決まってない。
兵庫県	○	25 年 11 月 1 日～	63	
奈良県	×			来年度から採用、何月にするかは検討中。
和歌山県	×			採用予定だが、来年か再来年か、時期が未定。
鳥取県	○	25 年 10 月 1 日～	63	
島根県	○	25 年 10 月 1 日～	63	
岡山県	○	25 年 11 月 1 日～	63	
広島県	○	25 年 8 月 1 日～	63	
山口県	○	25 年 10 月 1 日～	63	
徳島県	×			平成 27 年度中の運用を検討している。
香川県	×			来年度 7 月の歩掛改定の時に導入を予定している。
愛媛県	×			国が採用しているので、将来的には採用する。
高知県	×			採用検討中だが、いつ頃かは不明。
福岡県	○	25 年 10 月 1 日～	63	
佐賀県	×			採用予定だが、時期は明確になっていない。
長崎県	×			平成 26 年 10 月中を採用予定。
熊本県	×			来年か再来年を目処としているが、明確ではない。
大分県	○	25 年 10 月 1 日～	63	
宮崎県	×			来年度中の採用を予定している。
鹿児島県	×			今後採用予定、いつ頃かは明確ではない。
沖縄県	×			採用がいつ頃かは明確でない。

